

2021 年度第 4 回公立大学法人公立諏訪東京理科大学理事会議事録

日 時 2021 年 9 月 29 日（水） 10:30～11:40

場 所 遠隔会議システムにて実施

出席者 唐澤理事長、小越副理事長、大島理事、牛山理事、柿澤理事、宮坂理事、船木理事、
河嶋監事、柴田監事、（濱財務課長、加藤教務・学生支援課長、堀向総務課係長）

欠席者 なし

[配付資料]

- 1 2020 年度決算における利益処分の確定について（資料 1）
- 2 公立大学法人公立諏訪東京理科大学 令和 2 年度業務実績に関する評価書（資料 2-1）
- 3 令和 2 年度業務実績に関する評価書を受けて（資料 2-2）
- 4 2022 年度予算編成方針（案）について（資料 3）
- 5 本法人の長期財務収支見通しについて（2021 年度版）（資料 3-2）
- 6 2020 年度外部資金に係る研究等で見える“諏訪圏における地域連携活動”について
(資料 4)
- 7 SDG s 達成に向けた宣言書（資料 5）

[議 事]

1 議題

(1) 2020 年度利益処分の確定について

濱財務課長から資料 1 をもとに、以前の本会議において承認された 2020 年度の利益処分（案）について、諏訪広域公立大学事務組合長から原案どおり目的積立金を約 7,215 万円とすることが承認されたとの報告があった。

(2) 2020 年度業務実績に対する事務組合法人評価委員会の評価について

唐澤理事長及び牛山理事から資料 2-1 をもとに、公立大学法人評価委員会からの本法人に対する評価について、全体評価は「中期計画の進捗は順調」との評価を得たこと等報告があった。

また、牛山理事から資料 2-2 をもとに、法人評価委員会から意見のあった今後に期待する事項に対して、各部門の 2021 年度の年度計画への反映について報告があった。

(3) 2022 年度予算編成方針（案）について

唐澤理事長から資料 3-1 をもとに、標記の件について、中期計画の達成、研究領域への人的資源確保、外部資金獲得の推進等の 6 項目の基本編成方針をもとに策定すること等説明があり、審議の結果、予算編成方針について承認され、各部門において予算編成を行

うこととなった。

また、唐澤理事長から資料 3-2 をもとに、本法人の予算構造と項目ごとの今後の収支見直しについて報告があった。

これらに関連して、柿澤理事から長期収支見直しにおける人件費について、新学科構想に関する教員の増員に対する予算は含まれていないかとの質問があり、現時点では含まれていないが新学科構想が固まり次第、必要な教員数を確保すべく予算計上すること等説明があった。さらに柴田監事より DX 推進経費が計上されているがどのような取り組みを行っているかとの質問があり、授業録画システムの導入や事務手続きのペーパーレス化の検討等、工学系の大学として積極的に推進しているとの説明があった。

(4) 諏訪圏における昨年度の地域連携研究活動状況について

唐澤理事長から資料 4 をもとに、標記の件について、共同研究、秘密保持契約等の企業等との研究活動は公立化後順調に増加しており、全体に占める諏訪圏の企業等の比率も 2018 年度の 18%から 2020 年度は 30%まで増加していること等報告があった。

(5) 長野県版 SDG s 登録について

加藤教務・学生支援課長から資料 5 をもとに、長野県で実施する「長野県 SDGs 推進企業登録制度」に大学として登録し、「SDG s に係る研究の推進」「教育の多様性の確保のため女性及び外国人の教員の増加」「学内各種業務の D X の推進」を取り組み内容としたこと等報告があった。

(6) 現在の本学の新型コロナウイルス感染症対策状況について

加藤教務・学生支援課長から 10 月 1 日より後期授業が開始となるが、授業開始にあたり、「教室の壁移動、サーキュレーター設置による換気の実施」「学食の席について対面座席の廃止、席数減に伴い学食外でも食事ができるよう弁当販売の実施」「通学バスについて定員の 6 割での運行、また、換気、消毒の実施」等を行うことが報告された。

また、ワクチン接種について学生にアンケート調査を実施したところ、約 8 割の学生が接種予定であり、11 月までに希望する学生の多くが接種完了予定であること等報告があった。

(7) その他

①長野県からの緊急食料配布について

加藤教務・学生支援課長から長野県で実施する学生向け緊急食料配布について、約 300 名の学生が申込し、提供を受けることとなったこと等報告があった。

以上